

# 競馬事業調査特別委員会の設置、 奥州市総合計画審議会条例可決

平成十八年度第二回臨時会は、五月十一日の一日の会期で開催されました。競馬事業調査特別委員会の設置、市税ならびに国民健康保険税条例の一部改正、平成十七年度一般会計等各種補正予算の専決処分、奥州市総合計画審議会の設置、自動車事故に係る損害賠償に関する議決など発議案一件を含め十九議案の審議がおこなわれ、いずれも原案どおり承認・可決されました。

## 議案審議のポイント

### 市税・国民健康保険税の 条例改正

国の地方税法改正に伴う、奥州市の条例改正でありましたが、この専決処分のあり方について審議されました。

とりわけ今回の改正に伴い、奥州市財政への影響と、市民の皆さんに対する負担増がどうなるのかについて審議されました。

地方税の改正を受けたものとはいえ、その影響について試算がされていないことが明らかにされ、問題であると指摘されました。

国民健康保険税の一部改正については、必ずしも急いで改正する必要性がないことから、少なくとも議員が反対の態度をとりました。

### 平成十七年度補正予算

平成十七年度分の国民健康保険税、国の国庫支出金などの額が確定したことに伴う補正予算の専決処分の承認を求めるものでした。

審議の中で、奥州市全体で決算剰余金について、八億三千万ほど見込まれること、各区毎に、この剰余金は普通建設事業配分等の積算に反映されることが、確認されました。

他は、合併直後の四十日分であるため、予算書の説明のあり方についての審議にとどまりました。

### 奥州市総合計画 審議会条例

奥州市政の総合的な計画策定及び推進のため、四十人以内の審議会の設置が提案されました。

審議は、総合計画を策定する際に、相原市長が示しているマニユフェストとの兼ね合い、各区地域整備基金の取り扱いについてどうなるかが質されました。

マニユフェストは、合併協議会で決定された新市建設計画を基本としていること、その中で市長としての色合いをだしたい旨明らかにしました。各区整備基金については、使途が確定している江刺区以外の区について、地域協議会で検討し、最終的に市長の判断で、議会へ予算案としてはかることになる旨明らかにしました。

### 自動車事故損害賠償に かわる議決

二件の事故について、損害賠償を支払うことについて提案されました。

事故の発生後の取り扱いのあり方が、議論されました。

うち一件は、事故そのものの物的証拠が示されていないこと、事故報告後の処理が不明瞭だとの指摘がされました。

更に、奥州市と大きくなったことから、専門に担当する係を設置すべきとの提案がなされましたが、「組織的に今後検討してまいりたい」と述べるにとどまりました。



厳しい状況にある競馬事業